

第10回 防衛問題セミナー

平和と安全のために ～国際社会における日本の役割～

近畿中部防衛局では、平成21年7月22日(水)、舞鶴商工観光センターにおいて、第10回防衛問題セミナーを開催しました。

今回のセミナーでは、まず舞鶴地方総監部防衛部長佐藤1等海佐が、「ソマリア沖・アデン湾における海賊対処活動」と題して、海賊対処活動の意義、概要を説明したのち、現場の隊員の声や護衛対象となった商船からの御礼のメッセージを紹介しました。

次に大阪大学大学院国際公共政策学科星野教授が、「国際社会における日本の役割～自衛隊への期待と提言～」と題して、日本はグローバル化とどうつきあうべきか、(輸入に頼った)生活の安定のために何をすべきか、舞鶴と日本の安全保障との関係につき、持論を展開したのち、それに基づく自衛隊に期待する役割や提言につき、講演をしました。

最後に講師への質疑応答時間を設けました。質疑応答の一部を紹介しますと、以下のとおりです。

Q:派遣される乗員は、不満はないのか、あったとしたら、それにどのように応えているか。

A:不満のある者、ない者それぞれだが、共通してあるものは、「自分たちの(汗をかく)活動は真に国民に認知されているのか」という「不安」はある。

Q:日本は国連主義でいいのか。他の方法はないのか。

A: 国連の枠組みを利用することもあり、安保理常任理事国入りを目指して国連内で発言力を強めることもあり、日米で協力してアプローチすることもあり、他国と枠組みをつくってアプローチすることもあり、単独でアプローチをすることもあり、状況と問題に応じて組み合わせ、使えるものは最大限に利用していくことが大事なのではないかと考える。



また会場にお越しいただいた方からのアンケートより、以下の感想をいただきました。

- 普段はあまり安全保障には関心は薄いですが、子供の将来を考えると、少しでも理解できるように耳を傾けることが大切だと思って参加した。
- 我が国自衛隊が海外で高い評価を得ていることを誇りに思った。
- 理解の深化に繋がったまたぜひ開催して欲しい。
- 舞鶴地方民のみならず、もっと多くの人に聞いてもらいたいと思った。
- 防衛省自衛隊はPR活動が不足しているのではないかと、国民が知らないこと、知るべきことがまだまだある。

お忙しい中、ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。皆様からいただいた声をもとに、皆様のご理解に資することができるよう今後も防衛セミナーを開催していきます。(近畿中部防衛局一同)



第10回防衛問題セミナー

平和と安全のために ～国際社会における日本の役割～



平和な明日をつくる
子供達の未来をつくる
それが私たちの任務です



■開催日：平成21年7月22日(水) 18時～20時
■会場：舞鶴市商工観光センター(まいづるベイ・プラザ)
5F コンベンションホール

■講師：
大阪大学大学院 星野俊也教授
舞鶴地方総監部防衛部長 佐藤壽紀1等海佐

■事前の申し込みは必要ありませんが、定員300名
になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。
参加は無料です。



お問い合わせ先
防衛省近畿中部防衛局 企画部 地方調整課
大阪府大阪市中央区大手前4-1-67
TEL：06-6945-4956



■お車の場合：会場及び市営駐車場をご利用ください。
■電車の場合：東舞鶴駅より徒歩15分



第10回防衛問題セミナー

(平和と安全のために～国際社会における日本の役割～)

式次第

平成21年7月22日(水)

舞鶴商工観光センター

時 間	内 容	講 師 等
18:00	開 会	
～	主催者挨拶	増田 慎吾 (防衛省近畿中部防衛局長)
20:00	講 演 (約75分)	佐藤 壽紀 1等海佐 (海上自衛隊舞鶴地方総監部防衛部長) 「ソマリア沖・アデン湾における海賊対処活動」
		星野 俊也 (大阪大学大学院教授) 「国際社会における日本の役割～自衛隊への期待と提言～」
	休 憩 (約15分)	DVD「国際テロのない世界をめざして・インド洋での補給支援活動」上映
	質 疑 応 答 (約20分)	
	閉 会 の 辞	増田 慎吾 (防衛省近畿中部防衛局長)